

新 農業カーボンプレジット認証スタートアップ事業

農政企画課 6,868千円
【財源:国庫、日本一挑戦基金】

事業の目的

農業分野でJ-クレジット制度の認証取得を促進するため、クレジット創出による効果検証等を踏まえた上で、温室効果ガス削減プロジェクトの登録からクレジット認証まで、モデル的に実施する。

事業の概要

(1) 事業内容

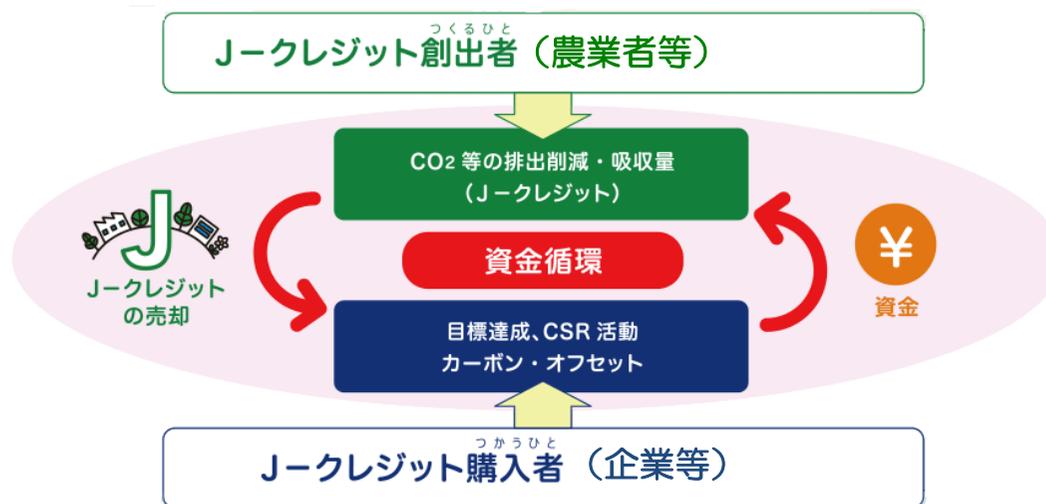
- 農業カーボンプレジット認証スタートアップ事業
カーボンプレジット制度の活用が有望な案件について、創出クレジットの算定等による効果検証及びプロジェクト登録後の効率的なモニタリングに向けた手法を検討し、クレジット認証までをモデル的に実施

(2) 事業の仕組み

- 県  民間企業

(3) 成果指標

農業分野のクレジット認証量
現状（令和5年度） 0t-CO₂/年
→ 令和8年度 600t-CO₂/年



出典:J-クレジット制度ホームページ (<https://japancredit.go.jp/>)

事業の期間

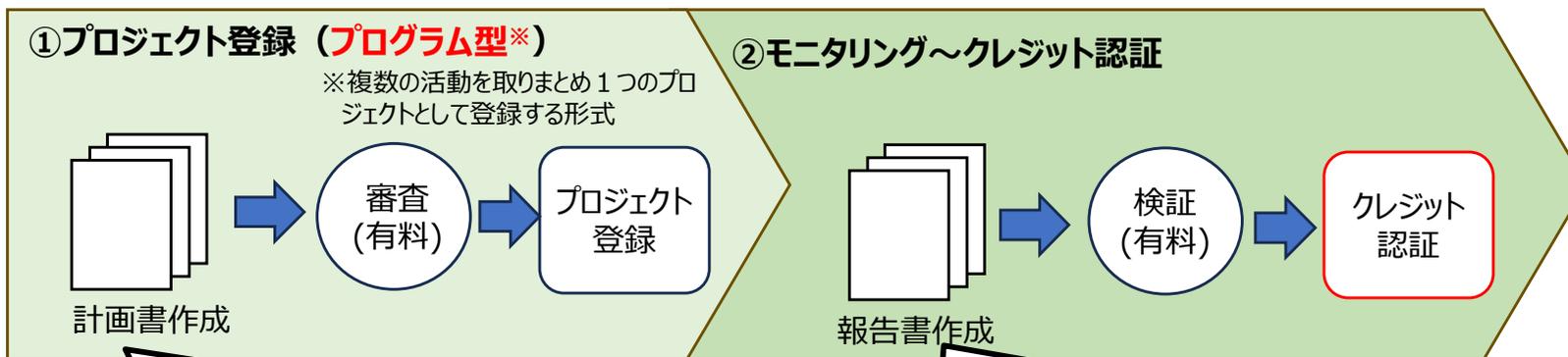
令和6年度～令和8年度

【別紙】 **新** 農業カーボンプレジット認証スタートアップ事業

○ 農業カーボンプレジット認証スタートアップ事業

カーボンプレジット制度の活用が有望な案件（施設園芸におけるヒートポンプ導入）について、創出クレジットの算定等による効果検証及びプロジェクト登録後の効率的なモニタリングに向けた手法を検討し、クレジット認証までをモデル的に実施

【J - クレジット制度の流れ】



【課題①】

・クレジット収益等のメリットが不明瞭

【課題②】

・モニタリングにおける生産者の労力負担

施設園芸におけるヒートポンプ導入をモデル

1
年
目

【対策①】クレジット収益等の見える化

創出クレジットの算定及びクレジット収入のシミュレーション等

【対策②】モニタリングの効率化

・モニタリングにおける労力負担の分析
・ICTの活用等による効率的なモニタリング方法の検討

2
年
目
3

【対策③】モデルの実証及び普及

・対策①②を基に、モデル産地においてプロジェクト登録からクレジット実証までを実施
・構築したモデルのマニュアル化及び県内各地域への研修等により、取組を拡大

本県農業における環境負荷軽減活動を収益化